

## 食品安全や家畜疾病等に関する緊急時対応訓練の評価方法の開発

## 1 中核機関・研究総括者

(株) 三菱総合研究所 野口 和彦

## 2 研究期間

2005～2007 年度（3 年間）

## 3 研究目的

農林水産省が食品安全緊急時対応基本指針（平成 16 年 2 月）等に基づき、食品安全や家畜疾病等に関する緊急事態発生を想定して策定する対応マニュアルについて、社会科学（人間行動学、情報コミュニケーション、心理学等）及び防災システムなどの専門的観点から、効果的な訓練手法・プログラムを開発するとともに、緊急時対応訓練を実施した場合の問題点等を抽出し評価する手法を開発する。

## 4 研究内容及び実施体制

## ① 訓練方法・プログラムの立案 ((株) 三菱総合研究所)

農林水産省における訓練方法及び訓練実施プログラムを立案する。

## ② 訓練の実施（訓練計画の実証）((株) 三菱総合研究所、富士常葉大学)

農林水産省及び必要に応じて関係機関の参加の下、マニュアル検証訓練、個別要素訓練、関係機関連携訓練を取り混ぜ、年間数回程度実施する。

## ③ 訓練評価方法の検討・実施 ((株) 三菱総合研究所)

評価方法を確立した上で、上記の訓練において評価を実施する。

## ④ 訓練計画の見直し・訓練基盤の整備 ((株) 三菱総合研究所、富士常葉大学)

訓練終了時及び各年度初期に訓練計画を見直すとともに、今後の継続実施に向けて訓練体系の提案及び訓練マニュアルの作成を行う。

## 5 目標とする成果

緊急時対応訓練は、食品安全に係る新たな脅威の出現、国民の消費行動やリスク情報反応の変化、関係機関の改編や担当者の交代等に応じて、適宜、見直す必要があることから、本研究を通じて、農林水産省における緊急時対応訓練の PDCA サイクル（Plan・DO・Check・Action）の確立を目指す。

## 食品安全や家畜疾病等に関する緊急時対応訓練の評価方法の開発

